

看護師国家試験対策
全11科目 各50問 全問5肢選択問題

科目別強化トレーニング

全11科目の中から学習進度に応じて組み合わせ自在!!



①人体の構造と機能



②疾病の成り立ちと回復の促進



③基礎看護学



④地域・在宅看護論



⑤成人看護学



⑥老年看護学



⑦小児看護学



⑧母性看護学



⑨精神看護学



⑩健康支援と社会保障制度



⑪看護の統合と実践

2026年度版

●受験可能期間

2026年 4/6 (月) ~ 2027年 3/26 (金)

●受験対象学年

低学年	中学年	高学年
◎	◎	◎

●成績発送スケジュール

スピーディに成績表をお送りします。下記「マークシート締切日(必着)*」を目安に試験実施日をご設定ください。

最高学年											
マークシート締切日(必着)	5/7 (木)	6/4 (木)	7/9 (木)	8/4 (火)	9/3 (木)	10/1 (木)	11/5 (木)	11/26 (木)	12/24 (木)	1/13 (水)	1/28 (木)
成績表発送日	5/12 (火)	6/9 (火)	7/14 (火)	8/7 (金)	9/8 (火)	10/6 (火)	11/10 (火)	12/1 (火)	1/6 (水)	1/19 (火)	2/3 (水)

低・中学年													
マークシート締切日(必着)	5/7 (木)	6/4 (木)	7/9 (木)	8/4 (火)	9/3 (木)	10/1 (木)	11/5 (木)	11/26 (木)	12/24 (木)	1/13 (水)	2/18 (木)	3/11 (木)	3/29 (月)
成績表発送日	5/12 (火)	6/9 (火)	7/14 (火)	8/7 (金)	9/8 (火)	10/6 (火)	11/10 (火)	12/1 (火)	1/6 (水)	1/19 (火)	2/24 (水)	3/16 (火)	4/1 (木)

*「マークシート締切日(必着)」…消印は無効ですので、ご注意ください。

●受験料 (税込価格)

全11科目セット
お1人様 ~~13,200円~~ → **10,000円**

単品
お1人様 各 **1,200円**

講義も受ければ
更に合格
まっしぐら!

※講義は別途オプション料金がかかります。

医教のこだわりポイント

- ① 11科目に分かれているから、頻出テーマを網羅できる
- ② 全問5肢問題！ 知識をしっかりと身につけられる
- ③ 専門分野科目では、状況設定問題も充実



解答解説書

解説
なぜ○か、なぜ×か
解説でしっかり理解できる

Check × Check
問題のテーマに関する
多角的な情報・
周辺知識を補足



人体の構造と機能 (一般問題) この問題のポイント 神経伝達物質

目標 I-Ⅱ 大項目 3 中項目 A 神経細胞と情報伝達

【問題 5】 ノルアドレナリンが神経伝達物質として働いているのはどれか。

1. 運動神経の神経終末
2. 交感神経の節前線維終末
3. 交感神経の節後線維終末
4. 副交感神経の節前線維終末
5. 副交感神経の節後線維終末

正解 / 3

1. × 運動神経終末の神経伝達物質は、アセチルコリンである。
2. × 自律神経は、神経節より中枢側の神経線維を節前線維、末梢側を節後線維という。
3. ○ 交感神経の節後線維終末で働く神経伝達物質は、ノルアドレナリンである（汗腺を支配する交感神経の節後線維終末からは、例外的にアセチルコリンが分泌される）。
4. × 交感神経の節前線維終末、副交感神経の節前線維終末・節後線維終末で働く神経伝達物質はアセチルコリンである。

Check × Check

●自律神経系の伝達物質

※それぞれから起絶する

この問題のポイント
教科書での
振り返りに役立つ

出題基準
国試出題の意図を
理解する

設問・選択肢
×選択肢からも学びが
深まる

チェックBOX
繰り返し学習は効果抜群！
得意な問題、不得意な
問題が一目でわかります

※解剖生理学の動画講義全 138 コンテンツ計 21 時間分を無料でご覧になれます。詳細案内は解答解説書内に掲載しています。視聴開始は原則、試験終了後からとなります。

受験時送付物

- ・ 問題冊子
- ・ マークシート
- ・ 解答解説書 (A5 版サイズ)
- ・ マークシート返却用封筒
- ・ 試験実施関連書類一式
- ・ 納品・請求書関連書類一式

成績分析

最高学年と低・中学年で母集団を分けて成績処理を行っております。

- ・ 問題別正答率表 (学内・全国の問題別正答率、選択肢別解答率)
 - ・ 受験者成績一覧 (学校順位・偏差値、受験者の個人データ (得点・順位・偏差値など) など)
 - ・ 個人別成績表 (得点、偏差値、正誤、問題別正答率など)
- ※データが必要な場合は、お声かけください。



問題数と試験時間

	問題数	配点	解答時間	試験時間
①人体・②疾病・③基礎・⑩社会保障	一般問題 (50 問)	1 点	1 分 / 1 問	50 分
④在宅・⑤成人・⑥老年	一般問題 (35 問)	1 点	1 分 / 1 問	65 分 (1 時間 5 分)
⑦小児・⑧母性・⑨精神・⑪統合	状況設定問題 (15 問)	2 点	2 分 / 1 問	

*試験時間は「看護師国家試験」の解答時間を参考に設定しております。実際に行う試験時間は、学校様でお決めください。

医教がオススメする学年別の効果的な使い方例

低学年

解剖生理学をトコトン!!

解剖生理学は、専門分野、実習、国試とすべての根本となる部分。
ポイントを押さえた解答解説書を読み込んで、強みに変えていきましょう！
+ a で解説講義の受講もオススメ!!



中学年

臨地実習を国試対策にリンクさせる!!

実習は、学生にとって最大の学びの場。
そこで得た知識や経験を国試対策につなげていくことで、効果的かつ効率的な学習が可能に!



最高学年

弱点補強こそ、合格への近道!!

【看護師国家試験対策模擬試験 基礎問題篇】の成績から判明した弱点科目を【科目別強化トレーニング】で補強しましょう！
国試出題科目別に分かれ、頻出テーマばかりを集めているからこそできる補強方法です!!



科目① 人体の構造と機能 出題基準一覧					
問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I～Ⅲ-1-A) 細胞の構造	細胞膜	26	I～Ⅲ-8-B) 体液の調節	酸塩基平衡
2	I～Ⅲ-1-A) 細胞の構造	ATP 産生の場	27	I～Ⅲ-9-A) 非特異的生体防御機構	皮膚の構造
3	I～Ⅲ-1-B) 遺伝子と遺伝情報	タンパク合成	28	I～Ⅲ-9-B) 特異的生体防御反応 (免疫系)	免疫機構
4	I～Ⅲ-1-D) 組織	神経組織	29	I～Ⅲ-9-B) 特異的生体防御反応 (免疫系)	特異的防御機構
5	I～Ⅲ-3-A) 神経細胞と神経組織	神経伝達物質	30	I～Ⅲ-10-A) 気道の構造と機能	気管支の構造と機能
6	I～Ⅲ-3-B) 中枢神経系の構造と機能	頭頂葉障害	31	I～Ⅲ-10-D) 呼吸	換気
7	I～Ⅲ-3-B) 中枢神経系の構造と機能	脳幹	32	I～Ⅲ-10-D) 呼吸	呼吸運動
8	I～Ⅲ-3-C) 末梢神経系の構造と機能	脳神経	33	I～Ⅲ-10-D) 呼吸	呼吸調節
9	I～Ⅲ-3-C) 末梢神経系の構造と機能	自律神経	34	I～Ⅲ-11-A) 咀嚼・嚥下	嚥下
10	I～Ⅲ-4-A) 骨と骨格	骨の構造	35	I～Ⅲ-11-B) 消化と吸収	胃液分泌
11	I～Ⅲ-4-B) 関節の構造と機能	球関節	36	I～Ⅲ-11-B) 消化と吸収	肝臓の構造
12	I～Ⅲ-4-C) 骨格筋の構造と機能	筋収縮の機構	37	I～Ⅲ-12-A) 栄養とエネルギー代謝	基礎代謝
13	I～Ⅲ-4-C) 骨格筋の構造と機能	下肢の筋	38	I～Ⅲ-12-B) 物質代謝	同化作用と異化作用
14	I～Ⅲ-5-B) 視覚	視覚の伝導	39	I～Ⅲ-12-B) 物質代謝	ビリルビンの代謝 (黄疸)
15	I～Ⅲ-5-C) 聴覚	外耳・中耳・内耳の構造	40	I～Ⅲ-13-A) 尿の生成	腎臓の構造
16	I～Ⅲ-5-C) 聴覚	外耳の構造	41	I～Ⅲ-13-B) 体液量の調節	抗利尿ホルモンの作用
17	I～Ⅲ-5-D) 平衡感覚	平衡覚	42	I～Ⅲ-13-B) 体液量の調節	レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系
18	I～Ⅲ-6-A) 心臓の構造と機能	心臓の構造	43	I～Ⅲ-14-B) 体温の調節	体温調節中枢
19	I～Ⅲ-6-A) 心臓の構造と機能	刺激伝導系	44	I～Ⅲ-15-B) ホルモン分泌の調節	フィードバック機構
20	I～Ⅲ-6-B) 血管系の構造と機能	脳の動脈	45	I～Ⅲ-15-C) 内分泌器官の構造とホルモンの機能	副甲状腺<上皮下小体>
21	I～Ⅲ-6-C) リンパ系の構造と機能	リンパ還流	46	I～Ⅲ-15-C) 内分泌器官の構造とホルモンの機能	膵島
22	I～Ⅲ-7-A) 血液の成分と機能	造血のしくみ	47	I～Ⅲ-16-A) 女性の生殖系の構造と機能	性周期
23	I～Ⅲ-7-B) 止血機構	線維素溶解	48	I～Ⅲ-16-B) 男性の生殖系の構造と機能	精子の形成
24	I～Ⅲ-7-C) 血液型	ABO 式	49	I～Ⅲ-16-B) 男性の生殖系の構造と機能	前立腺
25	I～Ⅲ-8-A) 体液の構成	体液の組成	50	I～Ⅲ-16-C) 受精と発生	受精

※「出題基準項目」「この問題のポイント」は変更になることがあります。

科目② 疾病の成り立ちと回復の促進 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-2-A) 疾病の要因	疾病の外因	26	IV-6-B) 血管系の疾患の病態と診断・治療	大動脈解離
2	I-2-A) 疾病の要因	生活習慣病	27	IV-6-B) 血管系の疾患の病態と診断・治療	閉塞性動脈硬化症
3	II-3-A) 細胞の障害	観くネクロシスとアポトーシス	28	IV-6-D) ショックの病態と診断・治療	心原性ショック
4	II-3-A) 細胞の障害	創傷の治癒	29	IV-7-B) 上部消化管の疾患の病態と診断・治療	腫瘍（食道癌）
5	II-3-B) 生体の障害	循環不全（浮腫）	30	IV-7-C) 下部消化管の疾患の病態と診断・治療	腸閉塞
6	II-3-B) 生体の障害	炎症の5徴候	31	IV-7-D) 肝臓・胆・膵臓の疾患の病態と診断・治療	肝硬変
7	II-3-B) 生体の障害	免疫異常（自己免疫疾患）	32	IV-8-A) 内分泌系の疾患の病態と診断・治療	甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症）
8	II-3-B) 生体の障害	先天異常	33	IV-8-A) 内分泌系の疾患の病態と診断・治療	副腎の疾患
9	II-3-B) 生体の障害	悪性腫瘍	34	IV-8-B) 代謝異常の疾患の病態と診断・治療	脂質異常症
10	II-3-C) 人と病原体の関わり	ウイルス（麻疹）	35	IV-8-B) 代謝異常の疾患の病態と診断・治療	痛風
11	II-3-C) 人と病原体の関わり	感染源と感染経路	36	IV-8-B) 代謝異常の疾患の病態と診断・治療	ビタミン欠乏症
12	III-4-B) 薬物の特性	抗凝固薬の薬物動態	37	IV-8-C) 体液調節の疾患の病態と診断・治療	酸塩基平衡の異常
13	III-4-B) 薬物の特性	降圧薬の作用と副作用	38	IV-9-A) 血液・造血管の疾患の病態と診断・治療	腫瘍（悪性リンパ腫）
14	III-4-B) 薬物の特性	抗精神病薬の副作用	39	IV-10-A) 感染性疾患の病態と診断・治療	ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症
15	III-4-C) 治療方法	早期胃癌の手術療法	40	IV-11-A) 自己免疫疾患の病態と診断・治療	全身性エリテマトーデス<SLE>
16	III-4-C) 治療方法	放射線治療	41	IV-11-B) アレルギー性疾患の病態と診断・治療	アナフィラキシーショック
17	III-4-C) 治療方法	臓器移植による拒絶反応	42	IV-12-A) 中枢神経系の疾患の病態と診断・治療	脳血管障害（脳内出血）
18	III-4-C) 治療方法	透析導入の原疾患	43	IV-12-A) 中枢神経系の疾患の病態と診断・治療	変性疾患（筋萎縮性側索硬化症<ALS>）
19	IV-5-A) 呼吸器系の疾患の病態と診断・治療	肺結核	44	IV-12-A) 中枢神経系の疾患の病態と診断・治療	Alzheimer<アルツハイマー>型認知症
20	IV-5-A) 呼吸器系の疾患の病態と診断・治療	肺癌の種類	45	IV-12-A) 中枢神経系の疾患の病態と診断・治療	腫瘍（脳腫瘍）
21	IV-6-A) 心臓の疾患の病態と診断・治療	先天性心疾患（心室中隔欠損症）	46	IV-12-C) 感覚器系の疾患の病態と診断・治療	視覚障害（緑内障）
22	IV-6-A) 心臓の疾患の病態と診断・治療	虚血性心疾患（狭心症）	47	IV-14-A) 運動器系の疾患の病態と診断・治療	変形性関節症
23	IV-6-A) 心臓の疾患の病態と診断・治療	虚血性心疾患（狭心症の検査所見）	48	IV-14-A) 運動器系の疾患の病態と診断・治療	重症筋無力症
24	IV-6-A) 心臓の疾患の病態と診断・治療	心筋症（拡張型心筋症）	49	IV-15-A) 泌尿器系の疾患の病態と診断・治療	腎炎（ネフローゼ症候群）
25	IV-6-A) 心臓の疾患の病態と診断・治療	不整脈	50	IV-16-A) 生殖器系の疾患の病態と診断・治療	腫瘍（前立腺癌）

科目③ 基礎看護学 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-A) 看護の本質	看護の定義	26	II-4-B) 食事と栄養	食事の援助
2	I-1-A) 看護の本質	セルフケア	27	II-4-B) 食事と栄養	経管・経腸栄養法
3	I-1-D) 看護における倫理	守秘義務	28	II-4-B) 食事と栄養	経静脈栄養法
4	I-2-A) 対象との関係の形成	ラポール	29	II-4-B) 食事と栄養	中心静脈栄養法
5	I-2-B) 基盤となる思考過程	根拠に基づいた看護<EBN>	30	II-4-C) 排泄	機能性尿失禁
6	I-2-B) 基盤となる思考過程	クリティカル・シンキング	31	II-4-C) 排泄	ポータブルトイレの設置
7	I-2-B) 基盤となる思考過程	看護診断	32	II-4-C) 排泄	床上での排泄の援助
8	II-3-A) コミュニケーション	コミュニケーション技法	33	II-4-C) 排泄	浣腸
9	II-3-A) コミュニケーション	ブローカ失語症	34	II-4-D) 活動と運動	歩行の援助
10	II-3-C) 看護過程	看護計画	35	II-4-E) 休息と睡眠	休息と睡眠を促す援助
11	II-3-D) 看護業務に関する情報	看護要約（看護サマリ）	36	II-4-E) 休息と睡眠	不眠への援助
12	II-3-E) フィジカルアセスメント	腹部のフィジカルアセスメント	37	II-4-F) 清潔と衣生活	入浴効果
13	II-3-E) フィジカルアセスメント	呼吸器系のフィジカルアセスメント	38	II-4-F) 清潔と衣生活	入浴の援助
14	II-3-E) フィジカルアセスメント	血圧測定	39	II-5-B) 皮膚・創傷管理	創傷の治癒過程
15	II-3-E) フィジカルアセスメント	徒手筋力テスト	40	II-5-B) 皮膚・創傷管理	包帯法
16	II-3-G) 安全管理<セーフティマネジメント>	ヒヤリ・ハット	41	II-5-B) 皮膚・創傷管理	褥瘡予防
17	II-3-G) 安全管理<セーフティマネジメント>	転倒・転落の予防と対策	42	II-5-C) 与薬	注射
18	II-3-H) 安楽の確保	体位変換	43	II-5-D) 輸液・輸血管理	輸液ポンプ
19	II-3-H) 安楽の確保	体位変換	44	II-5-E) 救命救急処置	一次救命処置<BLS>
20	II-3-H) 安楽の確保	電法	45	II-5-E) 救命救急処置	止血法
21	II-3-I) 終末期のケア	死亡後のケア	46	II-5-F) 生体機能のモニタリング	診察・検査時の看護師の役割
22	II-4-A) 環境	病室環境	47	II-5-F) 生体機能のモニタリング	便検査
23	II-4-B) 食事と栄養	推定エネルギー必要量	48	II-5-F) 生体機能のモニタリング	腹腔穿刺
24	II-4-B) 食事と栄養	疾患と治療食	49	II-5-F) 生体機能のモニタリング	エックス線検査
25	II-4-B) 食事と栄養	低栄養状態のアセスメント	50	II-5-F) 生体機能のモニタリング	経皮的動脈血酸素飽和度<SpO ₂ >の測定

※「出題基準項目」「この問題のポイント」は変更になることがあります。

科目④ 地域・在宅看護論 出題基準一覧

問題	出題基準項目		問題	出題基準項目	
	目標 - 大 - 中	この問題のポイント		目標 - 大 - 中	この問題のポイント
1	I-1-B) 在宅療養者のいる家族の理解と健康課題	家族の機能	26	II-6-C) 主な治療等に応じた在宅看護	褥瘡予防
2	I-2-B) 在宅療養者の権利の保障	在宅療養者の権利擁護	27	II-6-C) 主な治療等に応じた在宅看護	感染予防対策
3	I-2-B) 在宅療養者の権利の保障	個人情報の保護と管理	28	II-7-A) 在宅療養者の生活機能のアセスメント	手段的日常生活動作 (ADL)
4	I-2-C) 在宅療養者の自立支援	セルフケア	29	II-7-B) 在宅療養者の食事・栄養を支えるケア	栄養を補う食品の種類と選択方法
5	I-2-C) 在宅療養者の自立支援	閉じこもりの予防	30	II-7-B) 在宅療養者の食事・栄養を支えるケア	嚥下を促すケア
6	I-3-A) 在宅療養者の日常生活における安全管理	家屋環境の整備	31	II-7-B) 在宅療養者の食事・栄養を支えるケア	口腔ケア
7	I-3-A) 在宅療養者の日常生活における安全管理	転倒防止	32	II-7-C) 在宅療養者の排泄を支えるケア	排泄補助用具の種類と選択
8	I-3-A) 在宅療養者の日常生活における安全管理	熱中症の予防	33	II-7-C) 在宅療養者の排泄を支えるケア	ストーマケア用品の種類と使用
9	I-4-B) 地域・在宅看護におけるサービス体系の理解	訪問系サービス (訪問看護師の業務)	34	III-8-B) 地域包括支援センターとの連携	職種の役割と機能 (地域包括支援センター)
10	I-4-B) 地域・在宅看護におけるサービス体系の理解	訪問系サービス (訪問看護ステーションの役割)	35	III-8-E) 医療機関との連携	機関・職種との役割と機能
11	I-4-B) 地域・在宅看護におけるサービス体系の理解	通所系サービス	36	Alzheimer (アルツハイマー) 型認知症の症状	
12	I-4-B) 地域・在宅看護におけるサービス体系の理解	在宅看護に関連する法令	37	介護保険の居宅サービス	認知症の社会資源活用
13	II-5-A) 病期に応じた在宅療養者への看護	終末期にある在宅療養者の看護	38	認知症患者が利用できる社会資源	
14	II-5-B) 療養の場の移行に伴う看護	退院支援	39	ターミナルケアにおける家族への対応	
15	II-6-B) 主な疾患等に応じた在宅看護	在宅医療的ケア児の家族に対する看護	40	ターミナルケアにおける家族ケア	がん終末期の看護
16	II-6-B) 主な疾患等に応じた在宅看護	認知症高齢者の日常生活自立判定基準	41	終末期の在宅療養者とその家族に対する看護	
17	II-6-B) 主な疾患等に応じた在宅看護	精神疾患患者の訪問看護	42	2型糖尿病療養者の日常生活アセスメント	
18	II-6-B) 主な疾患等に応じた在宅看護	精神疾患患者に対する訪問看護	43	糖尿病性網膜症療養者への援助	多職種との連携・協働
19	II-6-B) 主な疾患等に応じた在宅看護	難病患者に対する訪問看護	44	障害者総合支援法による同行援護	
20	II-6-B) 主な疾患等に応じた在宅看護	脳血管疾患患者の家族への看護	45	Braden (ブレーデン) スケールによる褥瘡アセスメント	
21	II-6-B) 主な疾患等に応じた在宅看護	呼吸器疾患患者に対する在宅酸素療法	46	褥瘡予防に関する家族への指導	褥瘡管理
22	II-6-B) 主な疾患等に応じた在宅看護	在宅糖尿病患者の服薬管理	47	褥瘡予防と専門職の連携	
23	II-6-B) 主な疾患等に応じた在宅看護	在宅糖尿病患者の血糖自己管理支援	48	重症筋無力症の症状	
24	II-6-C) 主な治療等に応じた在宅看護	経鼻経管栄養法	49	重症筋無力症患者の在宅看護における口腔ケア	指定難病の在宅看護
25	II-6-C) 主な治療等に応じた在宅看護	在宅中心静脈栄養法	50	重症筋無力症患者の社会資源の活用	

科目⑤ 成人看護学 出題基準一覧

問題	出題基準項目		問題	出題基準項目	
	目標 - 大 - 中	この問題のポイント		目標 - 大 - 中	この問題のポイント
1	I-1-A) 成人期の発達の特徴	身体的な特徴	26	VII-17-A) (脳・神経機能障害) 原因と障害の程度のアセスメントと看護	頸髄損傷
2	I-2-A) 生活習慣に関連する健康課題	生活習慣病の三次予防	27	VII-17-B) (脳・神経機能障害) 検査・処置を受ける患者への看護	腰椎穿刺
3	II-4-A) 緊急度と重症度のアセスメント	意識レベル	28	VII-18-B) (感覚機能障害) 検査・処置を受ける患者への看護	聴力検査
4	II-5-B) 術中の看護	手術体位による影響と援助	29	VII-18-D) (感覚機能障害) 病期や機能障害に応じた看護	Ménière (メニエール) 病
5	II-5-C) 術後の看護	術後の鎮痛・鎮静管理	30	VII-19-C) (運動機能障害) 治療を受ける患者への看護	牽引法
6	II-5-D) 術後合併症と予防	深部静脈血栓症の予防	31	VII-19-D) (運動機能障害) 病期や機能障害に応じた看護	関節リウマチ
7	III-6-D) 社会的支援の獲得への援助	セルフヘルプグループの活用と支援	32	VII-20-A) (排尿機能障害) 原因と障害の程度のアセスメントと看護	排尿障害
8	IV-7-A) リハビリテーションの特徴	機能障害と分類 (自律神経過反射)	33	VII-20-C) (排尿機能障害) 治療を受ける患者への看護	前立腺切除術
9	V-8-A) がん患者の抱える苦痛	スピリチュアルな苦痛	34	VII-21-C) (乳腺機能障害) 治療を受ける患者への看護	乳癌手術 (乳房切除術)
10	V-8-B) がん患者の集学的治療と看護	薬物療法と看護	35	VII-21-D) (性・生殖機能障害) 病期や機能障害に応じた看護	子宮筋腫
11	VI-9-A) 緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	慢性呼吸不全患者	36	肺癌の検査	
12	VII-10-A) (呼吸機能障害) 原因と障害の程度のアセスメントと看護	拘束性換気障害	37	術後の疼痛ケア	肺癌の看護
13	VII-10-D) (呼吸機能障害) 病期や機能障害に応じた看護	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	38	退院後の生活指導	
14	VII-11-B) (循環機能障害) 検査・処置を受ける患者への看護	心電図	39	JCS を使ったアセスメント	
15	VII-11-C) (循環機能障害) 治療を受ける患者への看護	経皮的冠動脈形成術 (PCI)	40	開頭血腫除去術後の観察	脳挫傷の看護
16	VII-12-B) (消化・吸収機能障害) 検査・処置を受ける患者への看護	上部消化管内視鏡検査	41	脳室ドレーンの管理	
17	VII-12-C) (消化・吸収機能障害) 治療を受ける患者への看護	腹腔鏡下手術	42	経皮的冠動脈インターベンション (PCI) の術後の看護	
18	VII-13-C) (栄養代謝機能障害) 治療を受ける患者への看護	食道静脈瘤内視鏡治療	43	硝酸薬の使用に関する服薬指導	狭心症の治療と看護
19	VII-13-D) (栄養代謝機能障害) 病期や機能障害に応じた看護	肝硬変の食事指導	44	狭心症手術後の退院に向けた生活指導	
20	VII-14-A) (内部環境調節機能障害) 原因と障害の程度のアセスメントと看護	熱型	45	子宮頸癌の検査	
21	VII-14-C) (内部環境調節機能障害) 治療を受ける患者への看護	腹膜透析 (CAPD)	46	広汎子宮全摘術後の看護	子宮頸癌の治療と看護
22	VII-15-B) (内分泌機能障害) 検査・処置を受ける患者への看護	ホルモン負荷試験	47	子宮頸癌による広汎子宮全摘術後の退院指導	
23	VII-15-C) (内分泌機能障害) 治療を受ける患者への看護	抗甲状腺薬の副作用	48	薬効への不安をもつ患者に対する援助	
24	VII-16-A) (身体防御機能の障害) 原因と障害の程度のアセスメントと看護	ヘルペス	49	疼痛コントロールにおけるフェンタニル貼付剤の使用	終末期の看護
25	VII-16-D) (身体防御機能の障害) 病期や機能障害に応じた看護	アレルギー性鼻炎	50	終末期の患者を抱える家族の看護	

※「出題基準項目」「この問題のポイント」は変更になることがあります。科目④～⑨、⑪の問題36～50状況設定問題では、「出題基準項目」に代わって「読み解きの留意点」を掲載しました。

科目⑥ 老年看護学 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-A) 老年期の発達と変化	ライフサイクルからみた高齢者	26	II-7-B) 高齢者に特有な疾患・障害のアセスメント	老年期に特有のその他の疾患(下痢)
2	I-1-B) 高齢への適応	高齢者にとっての自立	27	II-7-D) 高齢者に特有な疾患・障害の予防と看護	老年期に特有のその他の疾患(聴覚性肺炎)
3	I-1-C) 高齢者のいる家族の理解	家族構成の変化	28	II-7-E) 認知機能が低下した高齢者の看護	認知症の症状
4	I-1-C) 高齢者のいる家族の理解	家族構成の変化(少子高齢化)	29	II-7-E) 認知機能が低下した高齢者の看護	認知症の治療
5	I-2-A) 高齢者の機能と評価	高齢者総合機能評価(CGA)	30	II-8-A) 疾患や障害をもつ高齢者の家族への支援	介護力の評価
6	I-2-A) 高齢者の機能と評価	日常生活動作(ADL)	31	II-8-A) 疾患や障害をもつ高齢者の家族への支援	高齢者や家族の特徴に応じた家族への支援
7	I-3-A) 高齢者の健康と疾病	高齢者の健康の特徴	32	III-9-A) 医療施設に入院する高齢者の暮らしと看護	入院する高齢者の看護
8	I-3-A) 高齢者の健康と疾病	高齢者の疾病の特徴	33	III-9-B) 介護保険施設に入所する高齢者の暮らしと看護	介護保険施設の種類と特徴
9	I-3-B) 老年期における身体機能の変化	循環器系	34	III-9-C) 地域でサービスを利用しながら暮らす高齢者の暮らしと看護	地域密着型サービス(認知症対応型共同生活介護)
10	I-3-B) 老年期における身体機能の変化	生殖器系	35	III-9-C) 地域でサービスを利用しながら暮らす高齢者の暮らしと看護	地域密着型サービス(小規模多機能型居宅介護)
11	I-4-A) 老年看護に用いられる概念・モデル・理論	エンパワメント	36	終末期患者の家族への支援	高齢者の終末期
12	I-4-B) 老年看護の倫理	エイジズム	37	終末期患者のせん妄への対応	
13	I-4-C) 高齢者の生活を支える制度と施策	日常生活自立支援事業	38	臨死期の看護	
14	II-5-B) 高齢者の安全な活動への援助	高齢者の歩行、移動の特徴	39	骨粗鬆症を伴う腰椎圧迫骨折患者のアセスメント	高齢者の腰痛
15	II-5-B) 高齢者の安全な活動への援助	高齢者に多い事故(転倒・転落)	40	骨粗鬆症を伴う腰椎圧迫骨折患者への入院時の声かけ	
16	II-5-E) 高齢者の清潔と衣生活の特徴と援助	高齢者の衣生活の特徴	41	骨粗鬆症を伴う腰椎圧迫骨折患者への退院指導	
17	II-5-E) 高齢者の清潔と衣生活の特徴と援助	身体機能・認知機能に応じた清潔の支援	42	キルシュナー鋼線牽引の看護	大腿部頸部骨折の看護
18	II-6-E) 終末期にある高齢者と家族への看護	高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア	43	人工骨頭置換術後の看護	
19	II-6-E) 終末期にある高齢者と家族への看護	苦痛の緩和と安楽への援助	44	杖歩行患者の退院後の転倒予防	
20	II-6-H) 薬物治療を受ける高齢者の看護	ポリファーマシー	45	感染性胃腸炎発症時の対応	感染性胃腸炎の看護
21	II-6-I) 手術療法を受ける高齢者の看護	高齢者に起こりやすい胃手術後の反応と合併症	46	感染性胃腸炎のアセスメント	
22	II-6-J) リハビリテーションを受ける高齢者の看護	リハビリテーションを受ける高齢者の特徴	47	感染性胃腸炎の感染拡大防止策	
23	II-7-A) 高齢者に特有な疾患・障害の病態と要因	感染症	48	胃切除術後患者のアセスメント	胃癌の看護
24	II-7-A) 高齢者に特有な疾患・障害の病態と要因	脱水症	49	胃切除術後患者への食事指導	
25	II-7-A) 高齢者に特有な疾患・障害の病態と要因	老年期に特有のその他の疾患(視覚障害)	50	胃切除術後の患者が退院後に利用できる社会資源	

科目⑦ 小児看護学 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-B) 子どもの権利	小児医療における子どもの権利の変遷	26	III-6-B) 災害を受けた子どもと家族への看護	災害に遭った子どもと家族への援助
2	I-1-B) 子どもの権利	子どもの権利擁護(アドボカシー)	27	IV-7-A) 急性症状のある子どもと家族への看護	脱水
3	I-2-A) 子どもの成長・発達の原則と影響因子	成長・発達の原則	28	IV-7-A) 急性症状のある子どもと家族への看護	けいれん
4	I-2-A) 子どもの成長・発達の原則と影響因子	発達課題	29	IV-7-B) 救急救命処置が必要な子どもと家族への看護	誤飲物質と処置
5	I-2-B) 子どもの成長・発達のアセスメント	形態的成長の評価	30	IV-7-C) 周手術期における子どもと家族への看護	手術の時期
6	I-2-B) 子どもの成長・発達のアセスメント	身体発育の評価(Kaup(カウプ)指数)	31	IV-8-A) 先天性疾患や慢性的な経過をとる疾患をもつ子どもと家族への看護	先天異常とその成因
7	I-2-B) 子どもの成長・発達のアセスメント	身体発育の評価(パーセントイル)	32	IV-8-A) 先天性疾患や慢性的な経過をとる疾患をもつ子どもと家族への看護	子どもの疾患に対する家族の受容と援助
8	I-2-B) 子どもの成長・発達のアセスメント	発達検査	33	IV-8-A) 先天性疾患や慢性的な経過をとる疾患をもつ子どもと家族への看護	小児の慢性疾患
9	I-2-C) 小児期における成長・発達の特徴	代謝系	34	IV-8-B) 心身障害のある子どもと家族への看護	発達障害
10	I-2-C) 小児期における成長・発達の特徴	大泉門	35	IV-8-C) 医療的ケアを必要とする子どもと家族への看護	子どものセルフケア行動の促進
11	I-2-C) 小児期における成長・発達の特徴	言語	36	腸重積症のアセスメント	腸重積症
12	I-3-A) 栄養と食生活	離乳	37	腸重積症の検査とその所見	
13	I-3-B) 生活リズムの確立	基本的生活習慣の確立	38	腸重積症児の家族への指導	
14	I-3-C) 遊びと学習	遊び	39	肥厚性幽門狭窄症に特徴的な症状	肥厚性幽門狭窄症の看護
15	I-3-F) 感染症と予防	定期予防接種	40	肥厚性幽門狭窄症の手術前の看護	
16	I-3-F) 感染症と予防	予防接種	41	肥厚性幽門狭窄症の手術後における母親への指導	
17	I-3-F) 感染症と予防	学校感染症	42	喘息発作程度のアセスメント	小児気管支喘息の看護
18	II-4-B) プレパレーション	検査・処置を受ける子どもと家族への支援	43	入院時の呼吸・体位などの看護	
19	II-4-C) 病気や診療・入院が子どもに与える影響と看護	病気や診療・入院に伴うストレスと影響要因	44	小児気管支喘息患者の日常生活指導	
20	II-4-E) 痛みを表現している子どもと家族への看護	痛みの緩和に向けた援助	45	糖尿病における尿検査の特徴	1型糖尿病の看護
21	II-4-H) 外来における子どもと家族への看護	外来における緊急度の把握	46	低血糖の症状	
22	II-5-A) 小児特有の診療(検査、処置)に伴う技術と看護	腰椎穿刺	47	糖尿病患児の運動時の指導	
23	II-5-A) 小児特有の診療(検査、処置)に伴う技術と看護	与薬	48	急性リンパ性白血病の症状	急性リンパ性白血病の看護
24	II-5-A) 小児特有の診療(検査、処置)に伴う技術と看護	輸液療法	49	抗がん薬治療の副作用への援助	
25	III-6-A) 虐待を受けている子どもと家族への看護	虐待のリスク要因と虐待の早期発見	50	医療費助成の社会資源の説明	

※「出題基準項目」「この問題のポイント」は変更になることがあります。科目④～⑨、⑪の問題 36～50 状況設定問題では、「出題基準項目」に代わって「読み解きの留意点」を掲載しました。

科目⑧ 母性看護学 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-A) 母子を取り巻く環境	在留外国人の母子支援	26	Ⅲ-5-A) 正常な分娩の経過と分娩期の異常	分娩経過と進行
2	I-1-B) 妊娠期からの切れ目ない支援に関する法や施策	母子保健法	27	Ⅲ-5-C) 産婦と家族への看護	産婦の基本的ニーズへの支援
3	I-1-B) 妊娠期からの切れ目ない支援に関する法や施策	児童福祉法	28	Ⅲ-6-A) 正常な産褥の経過と産褥期の異常	マタニティブルーズ
4	I-1-C) 働く妊産婦への支援に関する法や施策	労働基準法(就業制限)	29	Ⅲ-6-B) 産婦の健康と生活のアセスメント	産婦の心理状態
5	I-1-C) 働く妊産婦への支援に関する法や施策	労働基準法(産前・産後休業)	30	Ⅲ-6-D) 産褥期の健康問題に対する看護	子宮復古不全
6	I-1-D) 女性の健康支援に関する法や施策	母体保護法	31	Ⅲ-6-D) 産褥期の健康問題に対する看護	産褥熱
7	I-2-A) リプロダクティブ・ヘルスに関する概念	ジェンダー	32	Ⅲ-6-D) 産褥期の健康問題に対する看護	帝王切開術後
8	Ⅱ-3-A) 思春期・成熟期女性の健康維持への看護	性周期(月経)	33	Ⅲ-7-A) 早期新生児の生理的変化と異常	呼吸器系
9	Ⅱ-3-B) 思春期・成熟期女性の健康課題	月経異常	34	Ⅲ-7-B) 早期新生児期のアセスメント	Apgar(アプガー)スコア
10	Ⅱ-3-B) 思春期・成熟期女性の健康課題	性感染症(STI)	35	Ⅲ-7-D) 早期新生児の健康問題への看護	早産児
11	Ⅱ-3-B) 思春期・成熟期女性の健康課題	不妊症(男性不妊症,女性不妊症)	36	初診時のアセスメント	子宮筋腫患者の看護
12	Ⅱ-3-C) 更年期・老年期女性の健康と看護	ホルモンの変化(閉経)	37	子宮筋腫の特徴	
13	Ⅱ-3-C) 更年期・老年期女性の健康と看護	ホルモンの変化(更年期障害)	38	子宮筋腫が引き起こす症状	
14	Ⅲ-4-A) 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	妊娠の成立	39	不妊症のアセスメント	不妊症患者の看護
15	Ⅲ-4-A) 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	着床	40	不妊症検査の説明	
16	Ⅲ-4-A) 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	妊娠の経過と胎児の発育	41	不妊症患者の精神的苦痛への援助	妊婦健診未受診者の看護
17	Ⅲ-4-A) 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	妊婦の心理的变化	42	分娩予定日の算出	
18	Ⅲ-4-A) 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	流産	43	切迫早産の看護	
19	Ⅲ-4-A) 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	前置胎盤	44	支援が必要な妊婦への援助	母乳育児確立への援助
20	Ⅲ-4-A) 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	妊娠高血圧症候群	45	授乳状況のアセスメント	
21	Ⅲ-4-A) 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	妊娠糖尿病	46	乳房緊満時の援助	
22	Ⅲ-4-A) 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	胎児機能不全	47	退院時の授乳指導	死産の看護
23	Ⅲ-4-B) 妊婦の健康生活とアセスメント	嗜好品(喫煙)	48	児を亡くした妊婦への看護	
24	Ⅲ-4-B) 妊婦の健康生活とアセスメント	妊娠による不快感(マイナートラブル)	49	死産の届出に関する規程	
25	Ⅲ-4-E) 妊娠期のケアに必要な技術	ノンストレステスト(NST)	50	死産後の産婦への看護	

科目⑨ 精神看護学 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-A) 精神の健康の概念	精神障害の二次予防	26	Ⅳ-4-E) 家族への看護	家族の対処力/ソーシャルサポートのアセスメント
2	I-1-B) 心の機能と発達	防衛機制	27	Ⅳ-4-G) 精神保健医療福祉に関する社会資源の活用と調整	精神科デイケア
3	I-1-D) 危機(クライシス)	危機(クライシス)の概念	28	Ⅳ-4-H) 社会資源の活用とケアマネジメント	就労継続支援B型
4	I-1-D) 危機(クライシス)	危機介入	29	Ⅳ-4-H) 社会資源の活用とケアマネジメント	共同生活援助(グループホーム)
5	I-1-D) 危機(クライシス)	ストレスと対処	30	Ⅴ-5-A) 安全管理(セーフティマネジメント)	自殺企図
6	I-1-E) 災害時の精神保健	災害時の精神障害者への治療継続	31	Ⅴ-6-A) 患者の権利擁護(アドボカシー)	身体拘束
7	Ⅱ-2-A) 症状性を含む器質性精神障害	認知症の症状	32	Ⅴ-6-B) 精神保健医療福祉の変遷と看護	日本における精神医療の変遷
8	Ⅱ-2-A) 症状性を含む器質性精神障害	認知症の症状と看護	33	Ⅴ-6-C) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)の運用	精神保健福祉法
9	Ⅱ-2-A) 症状性を含む器質性精神障害	夜間せん妄の症状と看護	34	Ⅴ-6-C) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)の運用	入院形態
10	Ⅱ-2-B) 精神作用物質使用による精神・行動の障害	アルコール依存症の症状と看護	35	Ⅴ-7-A) 多職種連携と看護の役割	ピアサポーター
11	Ⅱ-2-C) 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	統合失調症の症状と看護	36	ギャンブル依存症患者の家族への初期対応	ギャンブル依存症の看護
12	Ⅱ-2-C) 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	統合失調症の症状	37	自責的感情の強いギャンブル依存症患者の家族への対応	
13	Ⅱ-2-C) 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	統合失調症の看護	38	ギャンブル依存症患者に勧める治療プログラム	
14	Ⅱ-2-D) 気分(感情)障害	うつ病の生物学的成因	39	統合失調症患者の急性期の看護対応	統合失調症の急性期の看護
15	Ⅱ-2-D) 気分(感情)障害	躁うつ病の看護	40	非定型抗精神病薬の副作用の観察項目	
16	Ⅱ-2-E) 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	強迫性障害の症状	41	統合失調症患者の服薬に対する退院支援	うつ病の看護
17	Ⅱ-2-E) 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	てんかんの検査	42	うつ病患者の貧困妄想時の対応	
18	Ⅱ-2-G) パーソナリティ障害	パーソナリティ障害の症状	43	入院後にSSRIを服用した時の初期対応	
19	Ⅱ-2-K) 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害	注意欠如・多動性障害(ADHD)の看護	44	うつ病患者に妄想が生じた時の看護	摂食障害の看護
20	Ⅲ-3-A) 援助関係の構築	プロセスレコード	45	摂食障害患者の状態のアセスメント	
21	Ⅲ-3-C) 生きる力と強さに着目した援助	ストレングス(強み、力)	46	摂食障害患者の入院時の対応	
22	Ⅳ-4-A) 脳の仕組みと精神機能	向精神薬の薬理作用	47	摂食障害患者への一貫した対応	てんかんの看護
23	Ⅳ-4-A) 脳の仕組みと精神機能	抗精神病薬の薬理作用	48	てんかん発作の症状のアセスメント	
24	Ⅳ-4-B) 心理・社会的療法	認知行動療法	49	再発作の危険性が高いてんかん患児の対応	
25	Ⅳ-4-B) 心理・社会的療法	生活技能訓練(SST)	50	てんかん発作時の対処に関する家族指導	

※「出題基準項目」「この問題のポイント」は変更になることがあります。科目④～⑨、⑪の問題 36～50 状況設定問題では、「出題基準項目」に代わって「読み解きの留意点」を掲載しました。

科目⑩ 健康支援と社会保障制度 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-A) 生活単位の変化	我が国の人口構造	26	Ⅲ-6-A) 公衆衛生の理念	地域保健法
2	I-2-B) 労働と健康	労働時間	27	Ⅲ-6-A) 公衆衛生の理念	ヘルスプロモーション
3	I-2-B) 労働と健康	育児・介護休業法	28	Ⅲ-6-D) 健康に関する指標に基づく公衆衛生	死因順位
4	I-2-B) 労働と健康	育児休業の取得率	29	Ⅲ-6-D) 健康に関する指標に基づく公衆衛生	悪性新生物の部位別死亡順位
5	Ⅱ-3-A) 社会保障の理念	ノーマライゼーション	30	Ⅲ-6-D) 健康に関する指標に基づく公衆衛生	乳児死亡の死因順位
6	Ⅱ-3-B) 社会保障制度	社会保障給付費	31	Ⅲ-7-A) 感染症の基本	定期予防接種
7	Ⅱ-4-B) 医療保険制度	医療保険	32	Ⅲ-7-A) 感染症の基本	感染症法
8	Ⅱ-4-B) 医療保険制度	医療保険の給付内容	33	Ⅲ-7-A) 感染症の基本	感染症法による届出
9	Ⅱ-4-B) 医療保険制度	国民医療費の動向	34	Ⅲ-8-B) 食品および食の安全	食品衛生管理
10	Ⅱ-4-C) 介護保険制度	被保険者	35	Ⅲ-9-A) 地域保健	健康日本21(喫煙)
11	Ⅱ-4-C) 介護保険制度	保険給付と利用者負担	36	Ⅲ-9-A) 地域保健	健康増進法
12	Ⅱ-4-D) 年金制度	国民年金制度の体系	37	Ⅲ-9-B) 母子保健	母子健康手帳
13	Ⅱ-5-C) 社会福祉における民間活動	民生委員	38	Ⅲ-9-C) 精神保健	精神保健医療福祉の施策
14	Ⅱ-5-C) 社会福祉における民間活動	社会福祉協議会	39	Ⅲ-9-C) 精神保健	自殺
15	Ⅱ-5-D) 生活保護に関する制度	生活保護の原則	40	Ⅲ-9-D) 学校保健	学校保健安全法による出席停止期間
16	Ⅱ-5-E) 障害者(児)に関する制度	障害者基本法	41	Ⅲ-9-E) その他の保健活動の基盤となる法や施策	全国がん登録
17	Ⅱ-5-E) 障害者(児)に関する制度	障害者総合支援法	42	Ⅲ-9-E) その他の保健活動の基盤となる法や施策	難病法
18	Ⅱ-5-E) 障害者(児)に関する制度	身体障害者福祉法	43	Ⅲ-10-A) 生活習慣病の予防	生活習慣病の一次予防
19	Ⅱ-5-E) 障害者(児)に関する制度	精神障害者保健福祉手帳	44	Ⅲ-10-A) 生活習慣病の予防	特定健康診査
20	Ⅱ-5-E) 障害者(児)に関する制度	発達障害者支援法	45	Ⅲ-10-B) 職場の健康管理	労働安全衛生法
21	Ⅱ-5-F) 児童に関する制度	児童相談所	46	Ⅲ-11-B) 職場の健康管理	労務管理者の役割
22	Ⅱ-5-F) 児童に関する制度	児童虐待防止への対策	47	Ⅳ-11-A) 看護職に関する法	保健師助産師看護師法の目的
23	Ⅱ-5-F) 児童に関する制度	少子化対策	48	Ⅳ-11-A) 看護職に関する法	看護職員の業務従事者届
24	Ⅱ-5-G) 高齢者に関する制度	高齢者虐待防止法	49	Ⅳ-11-C) サービスの提供体制	医療法
25	Ⅲ-6-A) 公衆衛生の理念	健康の概念	50	Ⅳ-11-D) その他の役割	安全管理<セーフティマネジメント>

科目⑪ 看護の統合と実践 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-A) 看護におけるマネジメントの目的と方法	看護マネジメント	26	Ⅱ-2-B) 災害各期の特徴と看護	災害各期における被災者への看護
2	I-1-A) 看護におけるマネジメントの目的と方法	看護マネジメントのプロセス	27	Ⅱ-2-B) 災害各期の特徴と看護	災害各期における要支援者(知的障害者)への看護
3	I-1-A) 看護におけるマネジメントの目的と方法	看護組織の構成と職務	28	Ⅱ-2-B) 災害各期の特徴と看護	災害各期における要支援者(視覚障害者)への看護
4	I-1-B) 医療・看護における質の保証と評価、改善の仕組み	看護の質保証と評価(構造)	29	Ⅱ-2-B) 災害各期の特徴と看護	災害各期における要支援者(妊産婦)への看護
5	I-1-B) 医療・看護における質の保証と評価、改善の仕組み	看護の質保証と評価(アウトカム)	30	Ⅱ-2-B) 災害各期の特徴と看護	災害各期における要支援者(高齢者)への看護
6	I-1-B) 医療・看護における質の保証と評価、改善の仕組み	看護の質保証(認定看護師)	31	Ⅲ-3-A) グローバル化に伴う世界の健康目標と課題	世界共通の健康目標(ICN)
7	I-1-B) 医療・看護における質の保証と評価、改善の仕組み	看護の質保証(特定行為)	32	Ⅲ-3-A) グローバル化に伴う世界の健康目標と課題	世界共通の健康目標(ICD)
8	I-1-B) 医療・看護における質の保証と評価、改善の仕組み	医療・看護の標準化(クリニカルパス)	33	Ⅲ-3-A) グローバル化に伴う世界の健康目標と課題	世界共通の健康目標
9	I-1-C) 看護業務のマネジメント	看護提供システム(プライマリナージング)	34	Ⅲ-3-A) グローバル化に伴う世界の健康目標と課題	プライマリ・ヘルス・ケア
10	I-1-C) 看護業務のマネジメント	看護提供システム(チームナージング)	35	Ⅲ-3-B) グローバルな社会における看護	多様な文化を考慮した看護
11	I-1-C) 看護業務のマネジメント	複数の看護業務が同時に発生した場合の対応方法	36	患者から処方薬に違和感を訴えられた場合の対応	誤薬のヒヤリ・ハット
12	I-1-D) 看護業務に関する情報に係る技術と取扱い	医療・看護業務に関する情報の活用	37	ヒヤリ・ハットの報告方法	
13	I-1-D) 看護業務に関する情報に係る技術と取扱い	医療・看護業務に関する情報の活用と保管	38	与薬時の注意点	
14	I-1-D) 看護業務に関する情報に係る技術と取扱い	診療記録等の電子化	39	災害時における診療の優先度	災害発生時の外国人患者への対応
15	I-1-E) 医療安全を維持する仕組みと対策	医療法施行規則における安全管理対策	40	トリアージタグ	
16	I-1-E) 医療安全を維持する仕組みと対策	安全管理体制整備	41	同室患者とのトラブルへの対処	精神疾患のある糖尿病患者の看護
17	I-1-E) 医療安全を維持する仕組みと対策	インシデントレポートの分析と活用	42	精神疾患のある糖尿病患者の入院時の対応	
18	I-1-F) 看護師の働き方のマネジメント	看護師等の労働安全衛生	43	精神疾患のある糖尿病患者の病院生活への対応	災害時の子どもへの看護
19	Ⅱ-2-A) 災害時の医療を支えるしくみ	災害に関する法	44	精神疾患のある糖尿病患者の人工透析への対応	
20	Ⅱ-2-A) 災害時の医療を支えるしくみ	災害時の医療体制(DMAT)	45	被災直後の子どもの精神状態	在宅酸素療法(HOT)の患者の災害看護
21	Ⅱ-2-A) 災害時の医療を支えるしくみ	災害時の医療体制(災害拠点病院)	46	避難所での子どもへの対応	
22	Ⅱ-2-A) 災害時の医療を支えるしくみ	災害時の医療体制	47	被災した子どもの心的回復過程への援助	
23	Ⅱ-2-B) 災害各期の特徴と看護	災害各期の特徴(トリアージ)	48	在宅酸素療法(HOT)の災害対策	在宅酸素療法(HOT)の患者の災害看護
24	Ⅱ-2-B) 災害各期の特徴と看護	災害各期の特徴	49	要配慮者の避難	
25	Ⅱ-2-B) 災害各期の特徴と看護	災害時の被災者・支援者の心理過程	50	感染症対策	

※「出題基準項目」「この問題のポイント」は変更になることがあります。科目④～⑨、⑪の問題36～50状況設定問題では、「出題基準項目」に代わって「読み解きの留意点」を掲載しました。

ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください **0120-937-599**
携帯電話・PHSからもご利用いただけます